

令和 5 年度 福島区運営方針

(所属長：深津 友剛)

「目標」「使命」及び「所属運営の基本的な考え方」

目標	福島区が「人と人がつながり支え合うことにより、お子さんからお年寄りまで誰にとってもこれからも住み続けたいまち」となること。
使命	「SDGs(持続可能な開発目標)」の理念の下、人と人とのつながりを基盤として、防災・防犯、子育て・教育、福祉・健康といった観点で、区民が満足して生活できる環境づくりに努めるとともに、まちの魅力を様々な方法で区内外に広く発信する。
令和5年度所属運営の基本的な考え方	福島区は、過去20年に渡って人口が増加傾向にあり、それに伴って区民の行政に対するニーズや、生活環境に対する価値観が多様化してきている。 そうした中でも、南海トラフ巨大地震など災害発生時の対応をはじめ、子育てや教育環境の改善、介護等を必要とする方が安心して生活できるまちづくりなど多くの課題を解決するためには、世代を超えてお互いに協力し助け合うことが必要である。 福島区では、身近な地域でのつながりや世代間のつながりをはじめあらゆる場面での「つながり」をキーワードに、人と人がつながる、「お子さんからお年寄りまでこれからも住み続けたいまち」となるよう、全力で取り組む。

重点的に取り組む経営課題

経営課題1 人と人がつながるまちづくり

	3決算額	26百万 円	4予算額	36百万 円	5予算額	35百万 円
課題認識	- 幅広い地域活動に取り組む地域活動協議会は公正な組織運営が求められるため、作成書類は多岐にわたるものとなるが、継続的な活動のためには少しでも負担を減らせるような効果的な支援が必要である。 - 若年世代にも地域活動に関心を持ってもらうためにはICTを活用した広報活動が効果的と考えられるが、各地域にノウハウの蓄積が少ないことから技術的な支援とともに地域を超えた幅広い情報共有が必要である。 - 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しつつ地域活動が円滑に行われるよう支援方法を検討する必要がある。					
主な戦略 (課題解決の方策)	- 地域活動の活性化と組織運営支援 - 地域活動に関する広報の充実					
アウトカム 指標 (経営課題の進捗度 合を示した指標)	①地域活動協議会の構成団体を対象としたアンケートにおいて、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合：90% ②地域活動協議会を知っている区民の割合：52%(無作為抽出アンケートによる)					
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	5年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成				前年度実績	
	91%			A	85%	
	39%			B	41%	

経営課題2 安全・安心なまちづくり

		3決算額	5百万 円	4予算額	6百万 円	5予算額	6百万 円
課題認識	・災害時の「自助」「共助」の取組の重要性を啓発するとともに、自主防災組織の運営や災害時に支援を要する区民の日常の見守り体制づくり、個別避難計画の作成を支援するなど、災害に強いまちづくりを進める必要がある。 ・人口増加などに伴い人の往来も増え、自転車盗など一瞬の隙を狙った街頭犯罪のリスクが身近なものとなっている。また、近年では高齢者の特殊詐欺被害も大きな課題となっている。区民の更なる防犯意識の向上とともに、地域及び警察と連携し、防犯活動を推進する必要がある。						
主な戦略 (課題解決の方策)	・自主防災組織等の防災活動・訓練への支援 ・防犯カメラ・街路防犯灯の設置等						
アウトカム 指標 (経営課題の進捗度 合を示した指標)	①自分でできる災害時の備え（自助）や地域住民同士による助け合い（共助）の重要性について認識していると答える訓練等参加者アンケート回答者の割合：80%以上 ②「啓発活動を行うことで防犯意識が高まる」と答える防犯アンケート回答者の割合：50%以上						
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	5年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成				前年度実績		
	91%				A		
	93%				A		

経営課題3 次世代を元気に育むまちづくり

		3決算額	20百万 円	4予算額	22百万 円	5予算額	7百万 円
課題認識	【妊娠期から就学前の子どもを持つ親に対して】 ・妊娠期から適切な助言や支援を受けることや、子育て中の親同士が交流したり気軽に相談できる場が提供されることが必要である。 【就学中の子どもを持つ親に対して】 ・区内の学校園や地域の実態を把握し、安全で安心できる教育環境の実現や、体力・学力の向上、キャリア教育の推進などの教育課題を解決するため、学校園と連携し、学校教育の現場ニーズに対応した支援を実施する必要がある。						
主な戦略 (課題解決の方策)	・妊娠期から就学前の子どもを持つ親に対しての子育て支援 ・小・中学生の体力、学力向上事業						
アウトカム 指標 (経営課題の進捗度 合を示した指標)	①アンケートで「区役所の取組によって子育ての不安や負担感が軽減された」と回答した割合：80%以上 ②区内において、地域の実情に応じた教育が行われたと感じる「保護者・区民等の参画のための会議（教育会議）」の委員の割合：100%						
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	5年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成				前年度実績		
	98%				A		
	84%				B		

経営課題4 誰もが自分らしくいきいきと暮らせるまちづくり

	3決算額	16百万 円	4予算額	16百万 円	5予算額	17百万 円
課題認識	- 区内の人口増加、住民同士のつながりの希薄化、地域活動の担い手不足等が進むなかで、複雑化・多様化する住民の生活課題を解決していくためには、「福島区地域福祉ビジョン」を踏まえ、課題を早期に発見できるよう相談支援体制を整備し、包括的に相談・支援を行う必要がある。また、一人暮らしの高齢者など支援が必要な人が地域で孤立しないよう、日頃から声かけや見守りを行うなど、支え合い助け合うことができる地域づくりを進める必要がある。 - 市民の健康寿命の延伸、健康格差の縮小に向けて、疾病の早期発見・早期治療につなげられるようがん検診等の受診率の更なる向上や介護予防の取組を推進する必要がある。					
主な戦略 (課題解決の方策)	- 生活課題の解決に向けた相談支援体制の充実 - お互いに気かけ、つながり、支え合う地域づくり - 各種検診・健康診査の啓発 - 介護予防の取組					
アウトカム 指標 (経営課題の進捗度 合を示した指標)	①身近な地域で「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を感じているアンケート回答者の割合：令和7年度までに60%（高齢者食事サービス、ふれあい喫茶などの地域福祉活動の参加者へのアンケート） ②健康、介護予防等を意識した生活を送っていると感じているアンケート回答者の割合（健康関連事業におけるアンケート）：70%以上					
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	5年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成			前年度実績		
	78%			A	77%	
	94%			A	98%	

経営課題5 魅力あふれるまちづくり

	3決算額	10百万 円	4予算額	23百万 円	5予算額	20百万 円
課題認識	- まちの魅力を区内外の多くの方に知ってもらうには、地域住民や企業、商店街等との連携を一層深めながら、「のだふじ」をはじめ「グルメのまち」など区の魅力を発信できるイベントを実施することが効果的である。 - まちの魅力の一つとして緑化活動を安定的に継続できるように、新たな担い手を募るなどボランティアの負担を減らす方法を検討しつつ、区民との協働による花とみどりの取組を推進する必要がある。					
主な戦略 (課題解決の方策)	- 区の花「のだふじ」をはじめ地域の魅力を活かした各種イベント事業 - 区民との協働による花とみどりのまちづくり					
アウトカム 指標 (経営課題の進捗度 合を示した指標)	(区の魅力度) 区主催イベント等のアンケートにおいて「魅力あるまちだと感じる」と答える回答者の割合：70%以上。					
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	5年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成			前年度実績		
	82%			A	95%	

自己評価 (運営方針全体の定性評価)	各課題解決に向けて取り組み、概ね目標を達成できたが、アウトカム指標について一部未達成のものがあり、今後工夫を講じていく必要がある。
今後の方針	引き続き、将来ビジョンのめざす姿を目標とし、各課題の解決に取り組んでいく。 アウトカム指標が未達成である二つの課題については、一つ目として、地域活動協議会の認知度を向上するため、若い世代に関心をもってもらうよう発信方法を工夫する。 二つ目として、「保護者・区民等の参画のための会議（教育会議）」については、活発な議論が行えるよう改善する。 令和6年度の重点取組として、優先順位の高い要支援者の個別避難計画を完成させるため、地域に丁寧に趣旨等を説明し支援する。 また、令和6年3月に第3期大阪市地域福祉計画等（令和6年度～令和8年度）が策定されたことを踏まえ、福島区の新たな福祉課題や環境変化に迅速に対応するため、福島区地域福祉ビジョン（令和7年度～令和9年度）を策定する。